

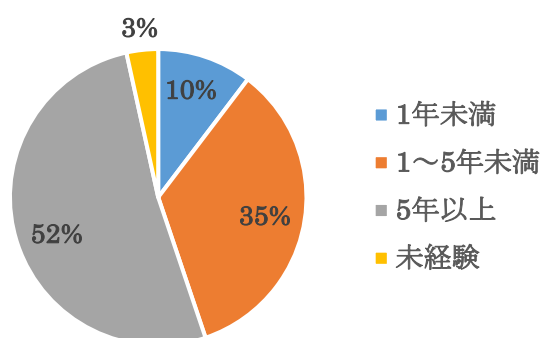
2023 年度生理検査研究班 呼吸機能検査基礎講座アンケート結果

開催日時：12月10日（土） 9：30～17：00

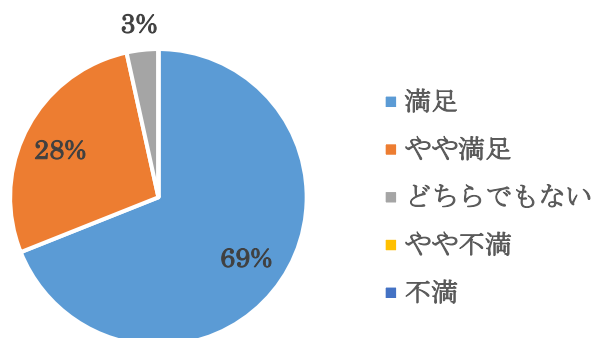
開催様式：現地開催（藤田医科大学3号館 4階 合同講義室）

アンケート回収：29件（回収率59.2%）

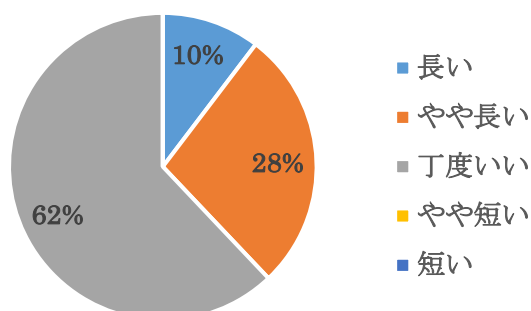
Q1：受講者の呼吸機能検査の経験年数について



Q2：基礎講座に対する満足度について



Q3：基礎講座の実習時間について



Q4：講演中に聞けなかった質問、日頃呼吸機能検査で困っていることについて（自由記載）

（質問1）

- ・ベストデータが出せているかの判断について

（回答）

- ・被験者が最大努力で検査を実施しているか、検査者が判断するのは苦慮しますが、

【理想】

呼吸機能検査ハンドブックに記載されている、呼吸機能検査の採択基準（妥当性・再現性）を満たしている

【現実】

被験者の思う吹き方（全力でない、吐き出しが悪い）を被験者なりに繰り返す場合にも『再現性』を認める場合もあるため、全ての症例で採択基準を満たすのは難しいです。その場合、検査者は数値だけでなく、被験者の検査中の様子（努力呼出中など）から最大努力できているか評価する。

被験者の状態によっては繰り返しの検査が困難な場合もあるため、再現性にこだわりすぎず検査コメントを用いて報告する。

(質問 2)

- ・ 認知症のある方への検査対応

(回答)

- ・ 患者の病状にもよりますので、明確な対応を提示することはできませんが、一例として、検査指示が通らず要領が得られない場合は、検査困難と判断し、検査依頼医に報告し中止しております。

(質問 3)

- ・ 自施設で行っている残気量の検査で Vtg についてあまり詳しく知る方法がなく困っています

(回答)

- ・ 生理研究班の班員施設でも Vtg 測定を実施している施設がございます。Vtg 測定でお困りの事がございましたら、愛臨技ホームページの、生理研究班「班への問い合わせ」より問い合わせいただけましたら、実施施設より返答させていただきます。お気軽にお問い合わせ下さい。

(質問 4)

- ・ 高齢者の精密検査の結果解釈について

(回答)

- ・ スパイロメトリー同様に、精密検査においても年齢・体格を踏まえた予測式が用いられているため、高齢者の評価にも対応できるようになっています。注意点として、採用している予測式が年齢の上限を超えた場合、測定装置によっては予測式の上限年齢で算出されている場合があるため、自施設の予測式の算出方法について確認しておく必要があります。

(例: D'Lco McRrath の予測式(年齢 15~75 歳)で 80 歳の方が検査を実施した場合、75 歳の予測式から %D'Lco が算出される。)